

子どもたちの夢を育む手助けに

すずきや旅館が福岡小に図書購入費100万円を寄付

8月3日、鎌先温泉すずきや旅館の鈴木恵一社長が市役所を訪れ、福岡小学校の教育図書購入費として現金100万円を寄付しました。同小への寄付は、5月に亡くなった鈴木社長の母千代さんが遺言で、母校の福岡小に寄付するよう書き残したのがきっかけ。鈴木社長は、「子どもたちの夢を育む手助けになるような図書をぜひそろえてください」と話し、武田教育長は「じっくりと本を選び、福岡小学校の図書室に『鈴木千代文庫』のようなコーナーを設置させていただきます」と感謝の言葉を述べました。



▲鈴木社長(左)から寄付金を受け取る武田教育長(中央)と福岡小平沢芳典校長

笑顔で楽しく交流

第一児童館放課後児童クラブの児童が清風を訪問



▲手遊びなどで楽しく交流しました

8月9日、第一児童館放課後児童クラブを利用する児童17人とすぎのこ母親クラブ(佐々木とし子会長)の会員7人が、介護老人保健施設「清風」を訪問しました。世代間交流を目的として平成18年から続くこの訪問交流。今年は母親クラブによる大型紙芝居のほか、児童たちが「白石うーめん体操」を元気に披露。手を取り合っ一緒に歌を歌うなど交流しました。最後は、児童から利用者へ新聞紙で作ったエコバッグをプレゼント。児童たちは「元気に長生きしてね」と声を掛けながら、利用者と楽しいひとときを過ごしました。

緑のカーテンに包まれて

南保育園でゴーヤの収穫

8月24日、南保育園で育てていたゴーヤが収穫の時を迎え、園児たちが大きく育ったゴーヤを収穫しました。同園では、夏場の保育室の温度上昇を抑制しようと「グリーンカーテン作戦」を3年前から実施。6月8日に植えた苗は、保育園の東側と南側に幅17m、高さ7mまで大きく育ち、園児たちは、地元のボランティアグループ「ボランティアみなみの会」の皆さんと一緒に、ゴーヤ約30本を摘み取りました。収穫したゴーヤは、近所の皆さんにおす分け。園児たちは、ゴーヤ収穫とともに近所の皆さんとのふれあいを楽しみました。



▲ゴーヤを収穫する園児

市長と一緒に白石の街を散策

エフエム仙台主催「風間市長と行く! 白石満喫ツアー」



▲壽丸屋敷で記念撮影

8月25日、「風間市長と行く! 白石満喫ツアー」が開催され、県内外から参加した14人が風間市長と一緒に白石の歴史や味覚を楽しみました。この催しは、ラジオ「白石よござりす」を制作するエフエム仙台が主催。参加者は壽丸屋敷で甲冑を試着したり、やまぶき亭で白石温麺を味わったりしながら白石の街を散策。同番組の「おみっちゃん号発車オーライ」でおなじみの永山美智子さんがバスガイドに扮して案内するなど、趣向を凝らしたもてなしに、参加者は「白石の街が好きになりました」と話していました。

スポーツを通して友情を深める

平成24年度海老名市・白石市姉妹都市親善野球交流大会



8月25日、益岡公園野球場で「平成24年度海老名市・白石市姉妹都市親善野球交流大会」が開催されました。この日は、両市から選抜された児童たちがA・B2チームに分かれ試合を行い、海老名選抜チームが2勝しました。海老名市の児童たちは、交流試合の前日と当日、本市の児童たちの家庭にホームステイ。スポーツ交流を通して友情を深めていました。平成4年にスタートした相互交流は、本年度で21回目。10月には本市の児童たちが海老名市を訪れます。



1_試合後、笑顔で記念撮影を行う選手たち 2_選手宣誓を行う内田一心くん 3_ランニングホームランを放った櫻井竜人くん

地域に根ざした愛される保育園に

(仮称)白石はるかぜ保育園 起工式

9月12日、白石市初の民設民営による保育園「(仮称)白石はるかぜ保育園」(定員90人)の新築工事起工式が、建設地の東町三丁目地内で行われました。式には、設置・運営を行う社会福祉法人はるかぜ福祉会の東海林和博理事長など関係者約30人が出席。東海林理事長は「地域に根ざした愛される園にしたい」と話し、風間市長は「地域の子育ての拠点となることを願います」と祝辞を述べました。同園は、老朽化した東保育園(定員50人)に代わる保育園として平成25年4月に開園予定。待機児童の解消や多様化する保育ニーズへの対応が期待されます。



▲工事の安全を祈願する関係者

自分の一生を大切に!

白石高校で「薬物乱用防止教室」



▲熱心に生徒たちに呼び掛ける富岡さん

9月12日、白石益岡ライオンズクラブ(高橋恵美子会長)主催の「薬物乱用防止教室」が白石高校で開催されました。この日は、講師の富岡和弘さんが同校の2年生の生徒や教員など約280人を前に、薬物の種類や特徴、体への影響などを説明。「誘われても絶対に断る。自分の一生を大切に」と呼び掛けました。この活動は、若い世代に薬物に対する理解を深めてもらおうと、同クラブが平成19年から小中学校や高校で開催。同教室は、学校や団体からの申し込みを受け開催されています。詳しくは、仙南保健所(☎0224-53-3119)にお問い合わせください。